



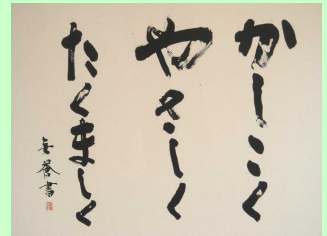
学校だより

知新っ子

旭川市立知新小学校

平成28年11月30日発行

No. 14



共に生きる社会の実現に向けて

特別支援コーディネーター 池原 恭子

今年の夏は、リオデジャネイロオリンピックが開催され、体操、柔道、陸上、バドミントン、卓球など、多くの競技で日本選手がメダルを獲得しました。連日、報道も盛り上がり上がっていました。選手達の活躍はもちろん良いニュースでしたが、今回のオリンピックイヤーで、これまでよりもパラリンピックにスポットライトが当たるようになったこと、時代の進歩のように思います。「オリンピック・パラリンピック」とセットで語られることが多くなり、パラリンピックの競技の中継や結果のニュースなども、オリンピックと同じように報道されていました。



平成28年4月1日に障害者差別解消法が施行されたことにより、世の中は、少しずつ障がいのある人もない人も分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し、合理的配慮を施す社会の実現に向けて動き出しています。障害者差別解消法は、障がいを理由とする不当な差別的取り扱いを無くし、障がいのある人にとって必要かつ合理的な配慮をしましょう、という法律なのです。



「合理的配慮」とは、車イスなどの利用者のために段差で補助をしたり、障がいのある人と一緒に歩くときには、歩く速度を合わせるだけでなく、補助する人がどのぐらいの距離で左右前後のどの位置に立つのがよいか、本人の希望に合わせること等が該当します。

学校教育では、障がいのある子どもが他の子どもと平等に教育を受け、権利を享有できるように、様々な取組をしています。建物のバリアフリー化や介助者等の人的支援等です。また、障がいの特性に応じた指導方法の工夫として、視覚教材の活用、短くわかりやすい指示、環境の構造化（その場所以外に何をやるのかわかるようにすること、予定や順番を事前に知らせること、丁寧に説明するなど）ということも取り組んでいます。

これらは特別支援学級だけの観点ではなく、実は通常の学級においても、大変有効な考え方なのです。特別支援教育というと、「個別の支援」のみがクローズアップされがちですが、「全体への配慮」という側面も重要な視点で、どの子にもわかりやすい教育の実現へと繋がっています。つまずきやすい子どもにもわかりやすい授業を行うことや学習環境を整えることが、どの子どもにも居心地のよい学級になると考えられるためです。

学校全体で、これらの視点に立って実践していくことが、障がいのある人もない人も共に学ぶインクルーシブ教育システム構築への第一歩となると思います。

その実現のために、私たち大人も子どもも、日ごろから「心のバリアフリー化」を意識していくことが大切です。障がいのある、なしにかかわらず、お互いの人格を尊重し、助け合って同じ場所で勉強したり、生活したりすることが当たり前と思える社会を実現していくことが何より必要です。

まずは大人が、障がいのある人へのさりげない心配りをする姿をみせていくことが、大切ではないでしょうか。例えば、点字ブロックのある歩道の上に自転車を置かない、車イスに乗っている人が段差のあるところで困っていたら手助けをするなど、今すぐできることはたくさんあります。



障がいのある人たちは、自分のできることを一生懸命やろうとしています。ですから、手助けする時は、「すぐに手助けするのではなく、相手の状況を見て、相手の心に寄り添って」ということを常に心がけて、共に手を携えて生きる社会を築き上げていきましょう。

6年生、ボランティア活動を頑張っています。



11月8日の様子

6年生の子ども達が交代で玄関（7条側・9条側）のモップ掛けや、外靴の整理整頓、低学年の子どもたちの雪はらい等の活動を11月8日から始めました。例年になく雪が多く、低学年の子どもたちにとって登下校時、大変な思いをしていること、また靴についての雪が解け、玄関が濡れ、そのため靴下が濡れてしまうことがたびたびあったため、6年生が動いてくれました。毎日、朝、中休み、昼休みに活動をしています。きっとこういう6年生の姿を下級生がみている、感謝の気持ちを持ち、知新のよき伝統となって引き継がれるものと思いました。

歌声フェスティバルにご参加いただき、ありがとうございました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



司会者(児童会役員)



校長先生のお話

11月15日(火)8:20～8:40に歌声フェスティバルを実施しました。朝早くにもかかわらず、30名以上の保護者の皆様に来校していただき、ありがとうございました。子ども達は一生懸命練習した成果を発揮できたものと思います。第47回卒業証書授与式に向けてさらに練習し、磨きがかかることを期待しています。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

平成28年度「知新小学校をよりよくするためのアンケート」へのご協力、ありがとうございました。おかげさまで、多くの保護者の皆様(80%の提出がありました)から提出していただきました。平成29年度に向けた教育活動や学校運営(職員全員でどのように学校を動かしていくか)について、参考にさせていただきます。なお、結果につきましては、2月の下旬に公表する予定です。

避難訓練を実施しました

11月17日の10:00から宅配業者を装った不審者が学校に侵入したという想定で、避難訓練を行いました。目出し帽をかぶって暴れる不審者を、さすまめ等を使って確保している間に子ども達は不審者から一番離れた場所へ避難しました。その後、不審者が警察に確保されたという想定で全員体育館に避難し、担当の吉澤先生、校長先生からお話をいただきました。



不審者を取り押さえる教職員



担当の吉澤先生のお話

わからない
のらない
おおごえでさげ
あすぐにげる
しらせる

1997年に神戸で起きた事件を契機に、不審者に対する避難訓練が行われるようになりました。未然防止の取組、緊急時の心構えや迅速・冷静な行動等について、普段から意識して生活することの大切さを痛感しました。

今年度も学習サポートを実施します。

今年度も冬休みを利用して、学習サポートを実施します。日時は12月26日・27日、9:00～10:50となっています。詳しくは、別紙にて配付された文書でご確認ください。年末のお忙しい時期とは存じますが、お子様に、参加するようご家庭でもお声かけをお願いします。

※対象学年についてですが、交通安全等を考慮して、3年生以上とさせていただきます。ご了承くださいませようお願いいたします。

12月の主な行事予定

12月 1 日	街頭指導 安全点検日 職員会議
2 日	なわとび集会
5 日	読み聞かせ(1～3年)
7 日	期末業務作業日(5時間授業) 子育てサロン
9 日	期末業務作業日(5時間授業)
	ひだまり行事(クリスマス会)
12 日	諸費納入日(低)
13 日	諸費納入日(高) 集会
14 日	委員会 水曜日課 諸費納入日(全)
19 日	読み聞かせ(4～6年)
22 日	2学期終業式(5時間授業)